

『解きながら身につく臨床神経生理学のポイント』
 日本臨床神経生理学会 専門医・専門技術師 試験問題・解説 120』
 正誤表

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書に以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

2019年1月16日

株式会社 診断と治療社

訂正箇所	誤	正
p. 8 表 1	伝導速度 (ms)	伝導速度 (m/s)
p. 131 左段 19, 20 行目	1.1~2.4 ms低下し 1.1~2.3 ms低下する	1.1~2.4m/s 低下し 1.1~2.3m/s 低下する
p. 134 問題図	手首-肘下 : 62 ms 肘下-肘上 : 58 ms	手首-肘下 : 62m/s 肘下-肘上 : 58m/s
p. 146 問題選択肢	① 23.8 ms ② 24.3 ms ③ 47.6 ms ④ 48.6 ms ⑤ 53.1 ms	① 23.8m/s ② 24.3m/s ③ 47.6m/s ④ 48.6m/s ⑤ 53.1m/s
p. 155 表 1	下記表参照 (朱字訂正部分)	
p. 163 問題選択肢	② 筋収縮と silent period に関連はない	② 筋収縮と silent period に関連がある

p. 155 表 1 (正)

NCS パラメータ	NCS 重症度				
	0 DPN なし	I 軽度	II 中等度	III 重度	IV 廃絶
脛骨	—	○			
F 波潜時延長 (>45.8-52.4 ms/1.5-1.8m 身長)	—	○			
and/or MCV 低下 (<42m/s)	—	○			
and/or A 波出現	—	○			
and/or 腓腹 SCV 低下 (<42m/s)	—	○			
and/or 腓骨 CMAP 低下 (<2 mV)	—	○			
and/or 腓骨 MCV 低下 (<42m/s)	—	○			
腓腹 SNAP 低下 (<5 μV)	—	—	○		
脛骨 CMAP 低下 (<2-5mV)	—	—	—	○	
脛骨 CMAP 高度低下 (<2mV)	—	—	—	—	○

NCS 0 度 : 神経障害なし, NCS I 度 : 軽度障害, NCS II 度 : 中度障害, NCS III 度 : 重度障害, NCS IV 度 : 廃絶性障害

(文献 4, 5) より改変)